

自分らしさを求めて職業選択！ ～呼び方が変わった職業から～

■ 保健師として働くAさん（男性）へインタビューしました。

職業を選択する際、全く違和感なく保健師を選びました。それは、すでに保健師として働く男性の存在があったことと、育ってきた環境が大きく関わっています。進学した学校は、女性が多数だったものの男性が4人いたため、精神的にも特に困ったこともなくまた、男性だからと特別扱いされず不便もなく過ごしました。

実際の仕事では、男性ということで珍しがられますが、赤ちゃん訪問などをして、すぐに受け入れてもらえ、拒否されるようなことはありません。

また、育児休業について、自分の子どもが生まれたら是非利用したいと思っています。

■ これから保健師を目指す後輩へメッセージ

男性だからと保健師になることをためらうことはありません。保健師は、地域のみなさんと長い付き合いになる、やりがいのある仕事です。やりたいと思った職業は、あきらめずに挑戦していったほうがいいと思います。



インタビューをしてみて意外にも「男性だから」という意識がないのが印象的でした。また、仕事に対する真面目な姿勢も感じられ更なるスキルアップを目指しています。

職業は、周りの目や他人の価値観で選ぶのではなく、自分らしさを本当に発揮できる仕事に就くことが大切だと思います。自分がやりたいことは、自分にしか分かりません。男性の職業、女性の職業と固定的に考えず、やりたい職業をあきらめない気持ちを持ち続け、努力することが必要です。



昨今の社会経済状況の中では、自分でやりたい職業に就ける人は一握りかもしれません。しかしそんな中でも幅広い視野を持ち、そこからやりがいを見出して自分らしく仕事をしている人はたくさんいます。

男女の性差を超え、どの職業でも自分らしさを大切に、充実感を持って働くことが最も重要ではないでしょうか。

五所川原市男女共同参画計画

(平成24年度から平成28年度)

平成24年6月に上記計画を策定しました。「私らしく、あなたらしく、共に喜びと責任を分かち合える男女共同参画社会を目指して」を目標に、事業を推進して参ります。

編集後記

今回も賑やかに編集会議は進められました。

雑談の中には、たくさんの気づきがあって、それも大切にしています…と言い訳しつつ、おしゃべり好きの編集委員を大募集中です。(A)



☆さんかくの編集会議を見学しませんか？

さんかくの編集会議を見学してみませんか？毎回、明るく楽しく話し合っています。男性女性問いません。編集日程をお知らせしますので、まずは下記までお電話又はメールをどうぞ。お待ちしております。

◎企画課男女共同参画室

TEL0173-35-2111 内線 2156

Eメール： danjo@city.goshogawara.lg.jp

★★★ 編集/さんかく編集委員4名 ★★★



さんかく

※この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されています。
女性 (Female) と男性 (Male) がともに支え合い、対等な立場で社会 (Society) を形成することを願っています!!
第14号 企画課 男女共同参画室 (内線2156)

知っていましたか？

呼び方が変わった職業

看護婦 (女)・看護師 (男)
保健婦 (女)・保健士 (男)
保母 (女)・保父 (男)
助産婦 (女)
サラリーマン (男)・OL (女)
営業マン (男)
カメラマン (男)
スチュワーデス (女)・スチュワード (男)
ウエイター (男)・ウエイトレス (女)
チェアマン (男)・チェアレディー (女)

看護師
保健師
保育士
助産師
会社員
営業職・営業社員
フォトグラファー・写真家・撮影スタッフ
客室乗務員・フライトアテンダント
ウエイトパーソン
チェアパーソン



上記の職業はごく一部ですが知っていましたか？ 聞き慣れた職業や、聞き慣れない職業があると思います。どの職業も男性、女性の区別がなくなって呼び方が変わったものです。

では、これから呼び方が変わるとされる職業を探すとその一つに「ホテルマン」があります。女性も多数働く職場ですが、「ホテルウーマン」とはあまり言いません。男女共通する呼び方は「ホテル리어」だそうですが、日本国内では馴染みが薄く、今後どのような呼び方で広がっていくのか大変楽しみです。

男女の区別がなくなってきたとはいえ、現実には、性別によって制約される職業もあると思います。しかし今後も働く環境の整備が進み、職業選択の幅が広がり続けていくでしょう。

